

ずっと英語を続けてほしい。 そうすれば、きっと世界が広がります。

▶ 日米会話学院

〒162-0824 東京都新宿区揚場町2-14 新陽ビル(四谷校舎改築のため2006.8~2008.3まで飯田橋へ移転中)

表面的な英会話力にとどまらない、内容のある大人のコミュニケーションができる英語を習得できると評判のスクールが日米会話学院です。同学院学院長の大井先生と、評議員の馬越先生に、英語上達とその素晴らしさについて語り合っていました。

「英語を話せる力」を身につけるには？ 音読で、英語のリズムをためていく

大井: 夏休みの季節がやってきましたね。馬越先生は、何か英語にまつわる夏の思い出をお持ちですか？

馬越: とても印象的な出来事を覚えています。高1の夏に、ホームステイで来日していた同い年のアメリカ人の女の子を連れて、家族みんなで富士山へ観光に出かけた夜のことです。私と彼女だけ眠れなくて、ヒソヒソ話を始めたんです。最初は彼女が何を話しているのか分からなかったのですが、かわいい男の子の話のようだったのでずっと集中して聴いていると、ある瞬間、意味が分かるようになりました。あのときのうれしさは、今でもはっきりと覚えています(笑)。

大井: 私はよく、英語の習得は飛行機の離陸時に似て



いると言うのですが、今のお話もそうですね。ゆっくり走っていても飛行機は離陸できませんが、集中して全力疾走すると飛び立てる。高1の頃の馬越さんも話に集中したから、身近な話題だったこともあり、内容が理解できたわけですね。

馬越: ええ、ものすごく集中しましたから(笑)。大井先生には、どんな夏の思い出がありますか？

大井: 私の場合、19歳のときから夏休みは英語とフランス語の通訳のアルバイトに明け暮れていました。毎日、新しい単語をいくつか覚えて、それを通訳する外国人との会話に使いながら、身に付けていくということをやっていましたね。

馬越: そういえば、日本人の場合、英語が読めるけれどもうまく話せないという人が多いようですが…。

大井: 日本の英語教育が、どちらかというと読む・聞くの「受信志向」に傾いているからでしょうね。そのため、英語を、日本語に上手に訳して話したり書いたりする「発信志向」の力がなかなか伸びません。頭の中に、いわゆる「英語の発信装置」ができていないためです。そういう人たちには、まず、「音読」のトレーニングをおすすめします。これは私の長い英語学習指導の過程で実感したことなのですが、音読することで、頭に英語のリズムが少しずつ蓄積されていきます。それが発信装置に育っていくのです。

馬越: 英語のリズムといえば、CNNなどの英語ニュースのテレビ番組で、好きなキャスターの話し方やリズム感を真似てみるのもいいでしょうね。



「財団法人国際教育振興会」評議員 馬越恵美子さん
桜美林大学ビジネスマネジメント学群教授。異文化経営学会会長。

英語表現を豊かにするには？ 「和文英訳」を学習に取り入れる

大井: これは日米会話学院のコンセプトでもあるのですが、表面的な英会話力にとどまらない、内容のある大人の英語を習得してもらうために、私が、常日頃、推奨しているのが「和文英訳」のトレーニングです。

馬越: 伝えたいことを、英語でどう言うか。そのための学習は、ネイティブスピーカーが目の前にいなくても、一人でできますよね。例えば、毎日の通勤・通学の電車内で、今日の混み具合や、車内吊り広告の文面などを英語でどう言うかを常に考える。それを毎日続けていると、少しずつ英語力が上がって、段々楽しくなってくると思います。

大井: いわゆる通訳になるための練習法である「日本語から英語に置き換える」トレーニングは、とても有効だと思いますね。例えば、自分と同じように英語の上達を目指す友人がいたら、お互いにメールは英語でのみやり取りすることに決めるのもおすすめです。

馬越: 最初は、映画や音楽や料理など、自分の好きなこと、興味のあることから日本語を英訳する練習を始めるとスタートしやすいでしょうね。

自分の中に、もうひとつの世界が広がる。 英語学習は生涯続けるに値するもの

馬越: 大井先生はまさに英語の達人ですが、英語を上達するためには、どんなことが大切なのでしょう。

大井: 好きになること。大切にすることですね。私は単語の一つひとつを「単語ちゃん」と思って可愛がっています(笑)。何かの縁で会ったのだから、大切に上げてあげると、つまずきや何回も使うようにしてあげると、その単語は一生自分に付いてきてくれます。

馬越: 英語そのものもそうですね。身につけなくてはならない憎らしいものではなく、自分の一部として一緒に育んでいくものだと思うと愛着がわきます。まさに「英語



「日米会話学院」学院長 大井孝さん
東京学芸大学名誉教授。財団法人国際教育振興会理事長。

ちゃん」ですね(笑)。

大井: そうですね。それから継続すること。これが何より大切です。英語学習を続けていると、壁にぶつかってもありますが、続けることで克服していくことができます。

馬越: コツコツやっていくと、必ず行き詰る時がありますよね。でも、そこでやめなくて続けていくと必ず上達します。スポーツでも何でもそうだと思いますが、やればやるほど自分の下手さが分かる。でも、それが進歩なのかもしれません。

大井: コツコツやりながら、時々、短期集中でやると伸びますよ。夏休みはいちばん時間がある時期ですので、ぜひ短期集中で頑張る期間にしてください。

馬越: どこで学ぶかも大事ですね。

大井: やる気のある人にとって、内容のある大人の英語を身につけられる日米会話学院は理想的な場所です。英語は身につけるほど、自分の中にもうひとつ、新しい世界を広げてくれます。人生を豊かにする英語をどうぞ生涯の友として育んでいってください。

日米会話学院 Since 1945

プロ通訳者・翻訳者養成から英会話学習まで

日本語研修所 Since 1967

初級日本語からビジネスプレゼンまで

国際交流事業

●外国人による日本語弁論大会(NHKで放送) ●日米学生会議 他

財団法人国際教育振興会

www.nichibei.ac.jp TEL03-3359-9621 info@nichibei.ac.jp

〒162-0824 東京都新宿区揚場町2-14 新陽ビル(JR飯田橋駅東口より徒歩4分) 四谷校舎改築のため移転中(2008/3まで)